

中川温泉の緑色片岩	
場所	神奈川県足柄上郡山北町中川
緯度経度	北緯35度26分38.2秒 東経139度2分59.7秒（世界測地系）
アクセス	JR御殿場線谷峨駅から富士急湘南バスで約30分 「中川」下車

県立西丹沢自然教室	
場所	神奈川県足柄上郡山北町中川
アクセス	JR御殿場線谷峨駅から富士急湘南バスで約55分 終点「西丹沢」下車

かながわ露頭まっぷ ～中川温泉の緑色片岩～

小田原啓
(神奈川県温泉地学研究所)

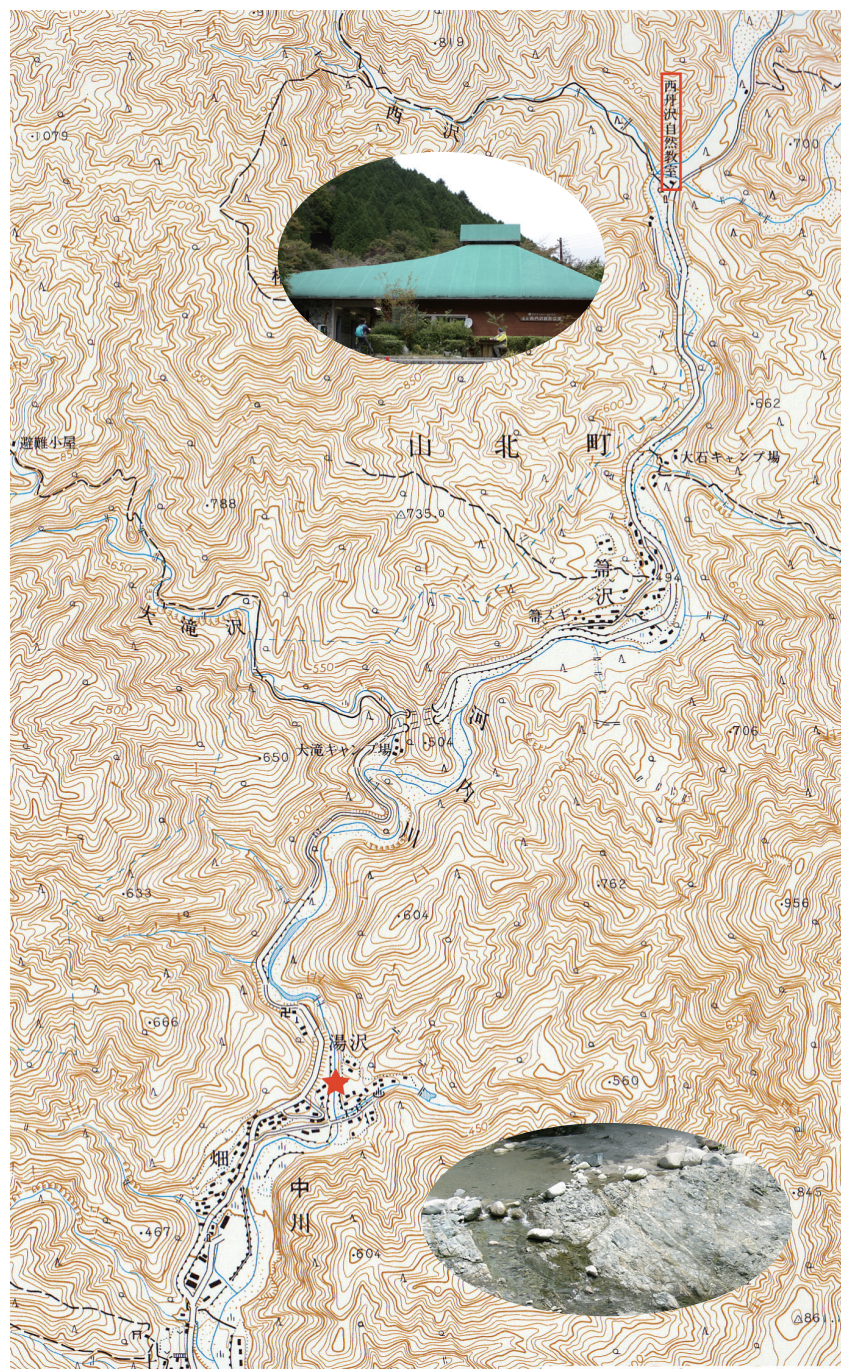


図 1 位置図。図中の★印付近の河原に緑色片岩が露出している。
国土地理院発行 1:25,000 地形図「中川」を使用。

中川温泉の緑色片岩

丹沢山地の西に位置する中川温泉付近には、丹沢層群の緑色片岩が露出しています。丹沢層群は、新第三紀中新世～鮮新世（約 1,700 万～400 万年前）に、現在より南の海底において噴出した火山岩類や堆積岩類からなります。この緑色片岩は、丹沢層群が熱や圧力といった強い変成を受けて出来た変成岩です。

県道 76 号線から町営温泉ぶなの湯の方に下っていくと、道の途中にこの緑色片岩が露出しています。また、ぶなの湯の駐車場から中川川の河原に降りると、さらによく観察することが出来ます（写真 1, 2）。この緑色片岩は圧力によって出来た縞模様（片理）が発達しています。

中川温泉は、アルカリ性単純温泉からなり、pH 値が 10 以上と高いことで知られています。武田信玄が丹沢山地を越えて小田原の北条氏を攻めた際、兵の傷を癒やした隠し湯という伝説もあります。この温泉は、丹沢山地中心部に分布するトータル岩の余熱により暖められた水が、緑色片岩中に発達する亀裂に沿って湧出しているものと考えられます。丹沢の地質を観察した後、一風呂浴びてから帰るのも良いでしょう。

県立西丹沢自然教室

中川川に沿って県道を上流に向かうと、県立西丹沢自然教室があります(写真3)。この敷地内には、丹沢山地で産出する岩石が一同に並べられています(写真4)。まずここで丹沢山地にはどのような岩石が産出しているのかを見てから、実際の露頭に向かうのも良いでしょう。また、西丹沢自然教室の河原では、白っぽい色をしたトーナル岩を観察することが出来ます。

写真1 中川温泉付近の中川川の様子。



写真2 河原に露出している緑色片岩。片理が発達している様子が観察できる。



写真3 県立西丹沢自然教室。



写真4 県立西丹沢自然教室の庭に並べられている、丹沢山地の岩石標本。

